

3 特集

はじめの一手で見えてくる

生徒のための学習評価

27 For School Section

- 28 新課程に向けて描く「学校教育デザイン」
鳥取県・私立青翔開智中学校・高校
- 32 —疑問や課題を解決!実践につながる!— 新課程レポート
新課程1期生入学に向けた観点別評価
- 36 指導変革の軌跡
岡山県立岡山東商業高校
- 40 輝く学年団を訪ねて
宮城県柴田高校 2学年団
- 44 学校危機管理 基礎講座
テーマ いじめの防止と対応

47 For Teacher Section

- 48 発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践
- 48 世界史 石川県立加賀高校 前田鷹^{たかと}岡
- 52 数学 京都府・私立東山中学・高校 山本晃^{あきひろ}弘
- 56 SDGsの視点で見る大学の学び
- 56 目標1、目標11、目標17 関西大学
社会学部 社会システムデザイン専攻 草郷孝好^{くさごうたかよし}研究室
- 58 目標11 長岡造形大学
造形学部 建築・環境デザイン学科 環境計画・保存コース
渡邊誠介研究室
- 60 これからの進路指導のための 世の中トレンド解説
トレンド・ワード データサイエンス
- 64 誌上で見学 学びのnext
小論文合同学習会 近畿地区専門高校3校連携

巻頭 未来を描く! 創る! イノベーティブな生徒たち

二宮綾音^{あやね}さん 大竹希美^{のぞみ}さん (ともに3年生)
山形県立米沢東高校

46 データから考える! 指導のnext

ピックアップデータ ベネッセ教育情報センター「教育・入試改革対応に関する調査」

72 Reader's VIEW

<https://berd.benesse.jp>

本誌記事は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでもご覧いただけます。

印刷製本/ (株)協同プレス 編集協力/ (有)ペンダコ 執筆協力/ 佐藤 智、中丸 満、二宮良大、長谷川 潤、岸 隆子、田中秀和、谷口 哲、ヤマグチイッキ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。 ※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 ©Benesse Corporation 2021

はじめの一手で見えてくる

生徒のための 学習評価

2022年度入学生の教育課程の編成が進んだ今、多くの学校にとっての次なるステップは、学習評価の充実に向けた準備かと思います。『VIEW next』高校版の読者モニターに実施したアンケートによると、半数近くの学校が学習評価に関する研修を実施しているものの、観点別学習状況の評価の実実施計画の策定や試行をしている学校は3割にも満たない状況でした。22年度から実施の新学習指導要領で求められている学習評価は、その構造や評価方法が一見複雑なため、実施まで半年を切った今でも、準備が思うように進んでいないのかもしれませんが、ただ、既に準備に着手されている先生方に話を伺うと、「今回求められている学習評価は、最初の一步を踏み出せば見えてくるものが多い」と、口々におっしゃっていました。もちろん、やみくもに一手を打つのではなく、効果的な一手を打つことが重要です。そこで本特集は、学習評価の改善過程でよく見られる課題に対して有効な一手を、具体的な実践事例を通じてお伝えしてまいります。識者による学習評価のキーワードの解説とともに、本特集を、自校の学習評価の改善・充実にお役立ていただけますと幸いです。

VIEWnext編集部 統括責任者 柏木 崇

P.4 課題整理

自校の実情に合わせて、学習評価の充実に向けた「一手」を考える

P.6 実践事例1 北海道札幌南陵高校

シラバスを改訂し、全教師に、学習評価を3観点で行う意識の浸透を図る

P.10 実践事例2 宮城県仙台第三高校

生徒や外部の視点も入った形成的評価が、生徒の学びへの意欲をかき立てる

P.14 実践事例3 福岡県立香椎^{かしい}高校

日々の授業での生徒の様子を最大限評価し、教育目標の実現を目指す

P.18 識者解説

新学習指導要領で求められる学習評価の本質とその実践の要諦

京都大学大学院 教育学研究科 教授 西岡加名恵

P.24 本特集テーマのnext

複数の学校で学習評価を磨き合う SSH8校共同開発「標準ルーブリック」

京都府・京都市立堀川高校 教頭 飯澤 功